

走行チェックシート

日付	2008年10月5日 (日)		時間	11:10 ~		イベント	2008MFJ全日本ロードレース選手権最終戦 MFJグランプリ	
天気	雨		マシン	GSX-R1000 K8		ライダー	波多野祐樹	
コース	名称	岡山国際サーキット			気温	20		
	コンディション	WET			気圧	986 hpa		
	路面温度	18.0 (計測時間 10:30)			湿度	75 %		
エンジン	スパークプラグ	NGK		エンジンOIL	シェルアドバンス #40			
	ファイナルレシオ	15 x 44(2.933)						
トランスミッション	1st	C	18/38(2.111)	4th	B	21/31(1.476)		
	2nd	A	20/37(1.850)	5th	B	22/30(1.364)		
	3rd	B	20/33(1.650)	6th	B	25/32(1.280)		
フロント	パーツ名	KYB(745mm)		TEN	-10			
	スプリング	10.25	N/m	OIL	KYB #5			
	自由長	mm		油面	190 mm			
	イニシャル	12.5	mm	残ストローク	mm			
	COMP(HI)	-4		突き出し	STDトップブリッジで1mm突き出し mm			
	COMP(LO)	-18						
リア	パーツ名	KYB(329mm)		TEN	-12			
	スプリング	125.0	N/m	残ストローク	mm			
	自由長	mm		リンク	-			
	イニシャル	12.5	mm	リンクロッド	mm			
	COMP(HI)	-2		車高	STD+1.5 ビボット-3mm スイング長565mm mm			
	COMP(LO)	-18						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ			
	サイズ	125/80/16.5		サイズ	200/65/16.5			
	エア圧	2.1			1.8			
チェック	順位	26	位	ベストラップ	1'30"718			
	水温	85		油温	109			
	ガソリン	IN	23	走行距離	- km			
		OUT	-		燃費	- km/		

<コメント>

早いものでもう最終戦！！

テストのときはそこそこ気温も上がり暑かったのですが、レースウィークの10月になると朝晩は相当涼しく感じられます。

岡山は温泉地が近くにあるので夜のお風呂が楽しみの一つでもあります。毎年お世話になる宿があるのですが、そこご飯がとてもおいしくて…。最初に泊まったときは量がとても多くてビックリしましたが、年々慣れてくるのか長いこと泊まっていると最後のほうは少し物足りなくなってくるので不思議です。でもおいしいから残さず食べてしまうんです。体重が一！！

さて横道にそれるのはこのくらいにして、おまじかんのレースの話題をしましょう。

前回の鈴鹿から少しのインターバルがあつた最終戦岡山ですが、去年はいろいろと噛み合わないままレースウィークをこなしていましたが、今年はテストからそこそいいフィーリングでした。テスト初日でギア抜けで転倒してしまいスペアカーでのテストになりました。

このときの車両のダメージは2年間で最大でした。(金額的に…)

レースウィークに入って前後のパネレートを含めただけで車体は大きく振りませんでした。タイヤも決まっていたので、あとはエンジンの燃調等を状況に合わせてアジャストしました。

レースタイヤで去年のベストで周回できるくらいの感じでした。しかし周りはもっとタイムが上がっています。予選では相当タイムを上げないと厳しいです。今回の予選方式もノックアウト方式です。SUGOで惜しくもQualify3に進出できなかったのが今回は！と相当気合が入っていました。

午前中の予選はエンジンのセットアップが主で、午後のQualify1(Q1)までタイヤを引っ張ります。

そして始まったQ1、午前中を走りきってあまりコンディションが良くないタイヤでしたが1'32.385でQ2へ、前後とも新品タイヤでスタートして3週目からベスト更新の1'30秒台で周回、5週目に1'30.718を出したが終了、結果15位でQ3進出ならず、しかし昨年と比べると1.5秒くらいも速く、感触も悪くないので、翌日の決勝は気持ちを切り替えていこうという事になりました。

決勝日、サーキット入りしたときは曇っていました。朝フリーの始まる少し前から結構大粒の雨が降ってきて、路面は完全にWETになりました。

決勝はドライの方が良かったのですが、皆同じです。レインのセットで迎えたレース1スタート！！

スタートは上手いきい、9番手くらいの位置にいました。しかし帰ってきた集団に波多野号がいません。ダブルヘアピンの一つ目で転倒！？

少ししてピットに戻ってきました。雨の決勝はこんな事が多いので少しトラウマになりそうです。

幸いマシンは軽症でFブレーキレバーと右ステップバー交換のみで再スタートしました。

先頭から3LAP遅れなので順位は26位。レース2に向けてとりあえず車両のダメージチェックも出来たし、なんだか気持ちの切り替える回数が多いですが、レース2までにもう一度車両を整備して、今年最後のレースに向けて準備しました。

レース2が始まり最初1'48秒くらいでラップしていましたが、そこから先が詰まりません。逆に周りのペースが上がってきて徐々に順位を落としてしまいました。進入でのリアの接地感が無かったのが原因でしたが、ドライとWETの差が有りすぎるセットになってしまいました。

レース2の結果は18位でチェッカー。

これで2008年全日本選手権の全てのスケジュールが終了しました。

今年はいい結果を残す事は出来ませんでした。多くの皆様からの応援、協力があり無事に終える事が出来ました。

本当にありがとうございました。

レーシングサプライ
畑中 健太郎

走行チェックシート

日付	2008年10月5日 (日)		時間	14:35 ~		イベント	2008MFJ全日本ロードレース選手権最終戦 MFJグランプリ	
天気	雨		マシン	GSX-R1000 K8		ライダー	波多野祐樹	
コース	名称	岡山国際サーキット			気温	19		
	コンディション	WET			気圧	985 hpa		
	路面温度	18.0		(計測時間 14:30)	湿度	78 %		
エンジン	スパークプラグ	NGK		エンジンOil	シェルアドバンス #40			
	ファイナルレシオ	15 x 44(2.933)						
トランスミッション	1st	C	18/38(2.111)	4th	B	21/31(1.476)		
	2nd	A	20/37(1.850)	5th	B	22/30(1.364)		
	3rd	B	20/33(1.650)	6th	B	25/32(1.280)		
フロント	パーツ名	KYB(745mm)		TEN	-10			
	スプリング	10.25	N/m	Oil	KYB #5			
	自由長	mm		油面	190		mm	
	イニシャル	12.5	mm	残ストローク	mm			
	COMP(HI)	-4		突き出し	STDトップブリッジで1mm突き出し		mm	
	COMP(LO)	-18						
リア	パーツ名	KYB(329mm)		TEN	-12			
	スプリング	125.0	N/m	残ストローク	mm			
	自由長	mm		リンク	-			
	イニシャル	12	mm	リンクロッド	mm			
	COMP(HI)	-2		車高	STD + 1.0 ピボット - 3mm スイング長565mm		mm	
	COMP(LO)	-18						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ			
	サイズ	125/80/16.5		サイズ	200/65/16.5			
	エア圧	2.1			1.8			
チェック	順位	26	位	ベストラップ	1'30"718			
	水温	85		油温	109			
	ガソリン	IN	23	走行距離	- km			
		OUT	-	燃費	- km/			

<コメント>